



発行所

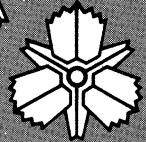
〒921

金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話 (0762) 42-0211

1991. 3. 1 発行



一泉同窓会総会開かれる

500余名の参加を得て和やかに

平成2年度の一泉同窓会総会並びに懇親会は、10月15日の午後6時から、金沢駅前の全日空ホテルで開催された。

総会に先立ち午後3時から、泉野出町・母校前庭の厳霜碑前で物故会員慰霊祭が行なわれ、澁谷亮治会長、船登芳雄泉丘高校校長はじめ同窓会役員、会員有志、泉丘高校教職員等多数が参列し、物故会員の冥福を祈った。

総会場では5時半から受付開始。今年は泉丘9・10・18・19・20期が幹事期となって会の準備運営に当り、小春日和を思わせる好天に恵まれて、定刻には例年にない500名を越す多数の参加を得ることができた。

まず、物故会員の冥福を祈り黙禱のあと、澁谷会長が、「3年後の平成5年に母校創立100周年をひかえ、富山・関西・関東の各支部での総会にも年を追って参加会員が増え、盛り上っている。100

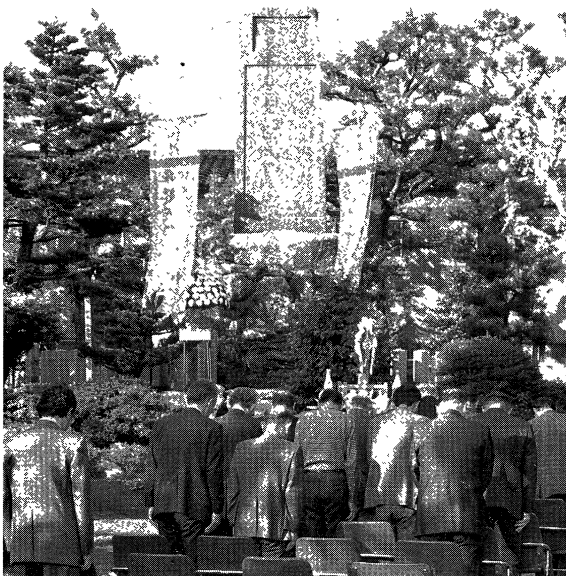


周年は大きな節目であり、会員各位のいっそうのご協力をお願いします」と挨拶。続いて同年4月就任した船登校長は、「当校は進学率も高いが、県下で唯一の通信制を有する高校。また、この9月の創立記念祭では“一泉行列”を新しく企画に加え、今後はこれを名物行事にする予定」と母校の近況を語った。

さらに島厚夫100周年記念事業実行委員会事務局長からは、経過報告、記念事業・募金目標額等について、具体的な説明と協力要請が述べられ、小松皖一総務委員長より、実行委員会の組織説明と各委員会の正副委員長が紹介された。

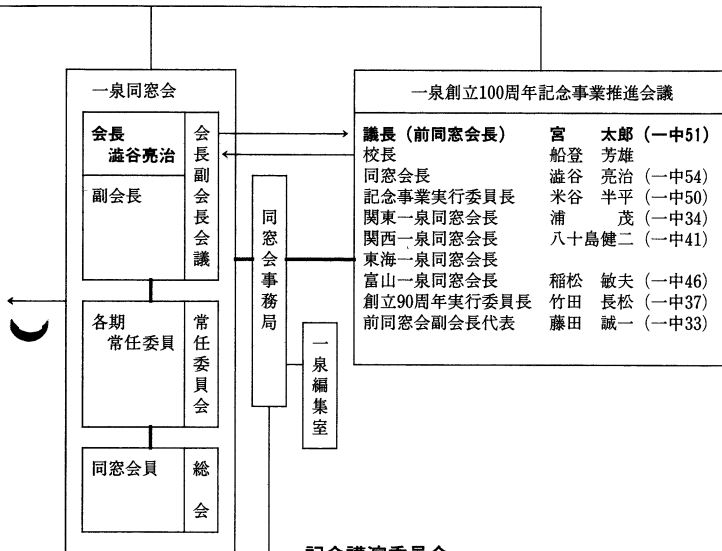
懇親会は同ホテル自慢の3階大ホールで開かれ、山瀬芳男同窓会副会長(実行副委員長)が「100周年をめざして頑張ろう」と挨拶。出席者中、最長老の浅野直久氏(一中29期)の乾杯音頭で華やかに開宴、なごやかな交歓の一夕となった。

校歌や応援歌もとび出し、恩師の先生方や旧友との懐かしいエピソードも披露されるうち、名残りつきない午後9時、一泉同窓会のいっそうの発展と創立100周年の成功を祈念して、小川忠男記念パーティー委員長の音頭で一同万歳三唱、来年の再会を約して散会した。



“宇宙をめざせ、新しい世代のエネルギーに点火を”

100周年記念事業実行委員会の組織づくりがなされ、'90年10月4日、各委員
会正副委員長の初会合が開催され、100周年に向けていよいよスタートを切っ
た。組織とメンバーは次の通りです。



記念講演委員会

委員長 粕野 義夫 (一中48)
副委員長 川原 善一 (一中51)
" 細川外喜男 (泉丘8)
" 小堀 幸穂 (泉丘17)
学校 ○押田邦夫、前田一弘

記念パーティー委員会

委員長 小川 忠男 (一中49)
副委員長 須田 幹雄 (泉丘3)
" 蔵田 武男 (泉丘9)
" 吉村外茂勝 (泉丘11)

記念フォーラム委員会

委員長 宮崎 光二 (一中54)
副委員長 辻 卓 (泉丘7)
" 本野 雅隆 (泉丘13)
" 蚊谷 八郎 (泉丘14)
学校 ○中島勇夫、藤井直樹、米田雅人

名簿委員会

委員長 南 秀男 (一中41)
副委員長 吉竹 每謳 (一中54)
" 福田 太睦 (泉丘8)
" 木村 登 (通信8)
委員長
平石英雄(一中41) 中橋寿雄(一中55)
西村裕吉(泉丘3) 中川恒雄(泉丘18)
中西一夫(泉丘18)
学校 ○西出 隆、能沢正夫、寺西弘忠

記念誌委員会

委員長 荒川 宏 (一中45)
副委員長 垣内 謹治 (一中54)
" 井波外志雄 (泉丘3)
" 広瀬 靖久 (泉丘16)
委員長
山本道生(一中54) 松村晴夫(泉丘3)
浅香以都子(泉丘10) 小林弘子(泉丘12)
釜谷鉄山(通信9) 村本喜和子(通信29)
学校 ○長谷勝彦、梅田和秀、中田久実子
宮崎 謙治、中条丹む子

記念音楽祭委員会

委員長 川北 篤 (一中55)
副委員長 栖田 洋 (一中55)
" 遠藤今曜子 (泉丘4)
" 中谷 道子 (泉丘6)
" 磯野 浩 (泉丘14)
学校 ○栖田 洋、東野昭子

記念美術展委員会

委員長 大蔵 吉夫 (一中47)
副委員長 斉藤 弥吉 (一中49)
" 中村 秀雄 (一中56)
学校 ○井田重男、石浦義彦、中田久実子

記念展覧会委員会

委員長 宇都宮熙志 (一中54)
副委員長 徳久 和夫 (泉丘3)
" 辻 貞夫 (泉丘6)
" 北 実 (泉丘12)
" 仕道 義松 (通信8)
学校 ○寺田恒一、中田真砂

記念スポーツ大会委員会

委員長 吉本 明 (一中52)
副委員長 西永 掃部 (一中55)
" 宮川 栄一 (泉丘2)
" 高橋 威 (泉丘10)
学校 ○野村知昭、高橋 威、押田邦夫
山本孝子

同窓会資料室充実整備委員会

委員長 松下 良 (一中53)
副委員長 寺窪 三郎 (一中52)
" 中川 清 (泉丘4)
" 正村 健三 教頭(泉丘4)
" 槻 吉郎 (泉丘14)
学校 ○正村健三、能沢正夫、宮崎謙治、
藤井直樹

O A 委員会

委員長 普神 貴行 (泉丘2)
副委員長 西村 裕吉 (泉丘3)
" 寺井 俊二 (泉丘4)
学校 ○中田真砂、藤田耕造、米田雅人

協賛記念事業委員会

委員長 水辺 博 (一中48)
副委員長 西尾 稔 (泉丘5)
" 鈴木 一男 (泉丘8)
" 橋本 勝郎 (泉丘12)

一泉編集室

編集室長 高川 義一 (一中53)
副編集室長 浅香以都子 (泉丘10)

同窓会の集い

【一中三三会（大正15年卒業）第18回大会】

大正最後の卒業の私達は、風薫る平成2年5月16日、晴天に恵まれて信州戸倉山田温泉「菊水」で会合。集まる者年々減少で、本年は僅かに14名。遠く北海道旭川からの米林君を始め関東勢6名、北陸勢7名で関西・中京は全減。今年も直前の13日には水落君の訃報あり、出席予定の小出君も不調のため再会できず。

総会に先立って、物故者氏名を読み上げて一同黙禱。藤田幹事の会務、会計、近況報告の後、卒業50年祭の第1回以来の皆出席の近藤君の音頭で乾杯して開宴。年期の入った和田君の謡曲、名人芸の米林君の横笛、更には素人裸足の小寺君の奇術ありで、飲む程に酔う程に昔に返って一しきり談論風発、例年の如く恩師のニックネームを織り込んだ「先生讃歌」に始まり応援歌、校歌の斉唱で幕。



翌日も快晴に恵まれて信州味噌の老舗工場や戦国武将の真田邸、真田宝物館、松代藩文武学校、更には大戦中大本営の移転が画されていた松代象

山地下壕を見学して後、午餐を共にして長野駅で再会を約して東西に袂を分つ。

出席者は次の通り

近藤師家司、武藤文雄、村上外雄、小寺俊一、高田小市夫妻、米林栄、和田光夫妻、井口政雄、岡田一男、辻義雄、藤田誠一夫妻

(藤田記)

【一中41期（昭和9年卒業）全国大会】

62年湯涌白雲楼の大会後、多数の同期諸兄からの開催要望もあり、又一泉創立100周年記念事業募金の協力依頼のこともあり、平成2年11月13日山代温泉大寿苑で全国大会を開いた。集る者32名。集合場所は47年4月に3本の桜の記念植樹とその記念石碑を建てた一中跡地の本多町公園とし、暫し青春時代の思い出に浸った後、貸切バスで大寿苑に向った。

記念撮影後の懇親会では、牧沢世話人が歓迎の辞を述べ更に3年後に行なわれる一泉創立100周年記念事業募金割当額達成に一層の協力を要請した。南（秀）世話人の軽妙な司会で会のムードは彌が上に盛り上がりアツと思う間に宴会終了時となり、各自の部屋へ引き上げて飲み合うもの、早々と寢床に入る者、お接待さんの案内で苑外のお楽しみ場所に行く者等それぞれ久し振りの再会の感激を味わって一夜を過ごした。

翌14日も好天気恵まれ那谷寺の紅葉狩と風流振ったが、暖秋のせいで紅葉の最盛りとは程遠く、折角の企画も諸兄に満足してもらえなかったのが残念でした。正午頃大和デパート横仙石通で名残を惜しみ再会を約し大会の行事を終えた。

あなたの素敵なカーライフをご提供いたします

■取扱い車種 県下ディーラー随一の、豊富な30ハリエーション！

プレジデント・インフィニティQ45・セドリック・マキシマ・レパード・ローレル・フェアレディZ・セフィロ・フルハート
アベニール・シルビア・パルサー・マーチ・キャラバン・パネール・パネール・プレジャー・サファリ・テラノ・ADワゴン
ダットサン4WD・セドリックバン・アベニールカーゴ・ADバン・ダットサントラック・アトラス10・20・シベリアン・フォープリフト

石川日産自動車販売株式会社

金沢市若宮町ホ47 ☎ (0762) 23-1123代

取締役会長 宮 太 郎 取締役社長 石 崎 皓 三

参加者は次の通り

青木、畝村、鬼頭、岸原、北本、黒梅、小泉、越田、近藤、重田、須田、杉田、高岡(精)、武内、西田、野崎、登、張江、番、藩、平石、牧沢、牧野、松井、三浦、水本、南(秀)、村北、八十島、矢部(睦)、山岸、山口

(牧沢善二記)

【一中42期(昭和10年卒業)十桜会全国総会】

日時 平成2年11月21・22日

場所 山代温泉「ゆのくに白雲閣」

毎年恒例の全国総会も本年で19回目を迎えた。今年もお元氣な藤田先生ご夫妻のご臨席をいただき、会員33名ご同伴夫人7名で総員42名の出席者となった。

先ず吾々十桜会の会長梶川欽一郎君が、今春の叙勲で県内最高の「勲二等旭日重光章」を受章された榮譽を讃え一同その慶びをわかしあつた。

今年も梶雅勝、小林敏夫、米田鉄夫の3名の諸兄が亡くなり、現在、全会員の三分の一に当る30数名が何らかの病気で入院、通院、自宅療養中の報告あり(会誌『十桜』参照)。

梶川会長の乾杯で開宴となるや思い思いに席をたち交盃歓談のうちに白髪、禿頭の老友も次第に昔時の桜章健児に立ち返り大いに盛り上がった。



翌日は朝食後マイクロバスで伝統工芸村「ゆのくにの森」を見学し、来年10月に開催ときまった越後の湯沢温泉での再会を約して解散した。

尚、母校創立100周年記念の募金の応募状況を報告し、協力と割当目標の達成を誓い合った。

出席者 藤田誠一先生ご夫妻、鴻野夫妻、玉村夫妻、柿木夫妻、坂本夫妻、葛西夫妻、笠間夫妻、諸江夫妻、上島、雄谷、久保木、久保田、谷内、中谷(外)、古沢、山本、米山、山崎、沖野、二口、浅本、梶川、久間、小泉、駒居、柴野、高木、高畠、淡中、寺島、東、八尾(孝)、細木、松本(芳) (諸江敏夫記)

【一中47期(昭和15年卒業)在京同窓会】

平成2年11月6日、都内・大丸の金城楼で久方振りに会合しました。会の半ばに坂本官房長官も出席し、長官激励会となりました。集る者21名は下記の通りです。



出席者 池保、池田亥左夫、川島栄一、近藤靖、小鍛冶敏雄、辻沢士郎、中川智雄、中村達、鍋島基明、西島誠一、新田正之、半田博、深見信一、福岡二郎、鉾田太郎、本田尹夫、諸江義厚、森一男、山口尚三、坂本三十次、中野喜代二 (中野記)

建築設計・工事監理



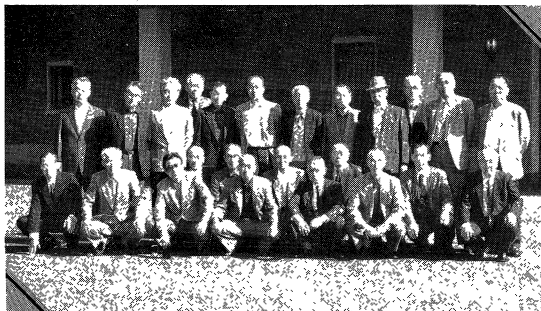
株式会社 鈞谷建築事務所

取締役社長 鈞谷利夫

本社 金沢市泉ヶ丘2丁目14番7号 TEL(0762)42-5271(代)
東京事務所 東京都中央区築地4丁目3番4号 第2アワヤビル TEL(03)3542-6441(代)

【一中50期（昭和18年卒業）全国大会】

本年は関東部会の主催で平成2年10月20日伊豆の下田市で開催された。グンゼ産業の社長藤野君の好意により、同社白鵬寮を借り切ったのである。当日は午前から、前夜同寮に宿泊したゴルフ愛好の有志11名が伊豆下田カントリークラブでプレイを楽しみ、同窓会のウォーミングアップとなった。



須崎御用邸にて

夜の会は、東京方面16、金沢方面10、関西2、中部3、計31名が参加し、午後6時、日本たばこインターナショナルの浅井君の開会の挨拶によって盃を取った。飲むほどに、泉野の昔に帰り、夜半まで、旧友同士の歓談は尽きなかった。翌朝は浅井君のつてによって、須崎御用邸を拝観することができた。御用邸は下田港の東側、須崎半島の、伊豆の海を望む丘の広大な自然林の中にあり、厳重な機械警備の、くすんだ鉄筋の簡素な一階建てであった。昭和天皇の謁見の間、御璽を押された執務室、地下からリフトで水槽をあげる仕掛けの生物研究室、皇后の休まれた和室、侍従・女官の詰め所など、ありし日が偲ばれて感慨深かった。その他咸臨丸を模した観光船で下田港を巡り、黒船の停泊場所や吉田松陰の潜んだ島を見、あるいは唐人お吉の遺品に悲運の生涯を思いやった。二時下田駅で解散。

参加者 浅井、市野、上田恵、尾上、茅野、河島、小中、小柳、高井、高本、得能、西坂、野村庄、畠（金沢）、広瀬、深見、福田、藤田、藤野、藤本、堀、松江、松島、南野、宮村、横川、吉岡、米田、奥、森、室賀
(西坂弥三郎記)

【一中53期（昭和20年卒業）五三の会総会】

卒業45周年を迎えた一中53期生は、10月6日金沢市味噌蔵町の金沢シティモンドホテルで総会を開催し、母校の100年史編纂室から「戦時下で特殊な教育環境にあった当時の学校生活の様子を聞かせてほしい」との依頼を受け、会に先立ち地元の代表による座談会をもった。卒業後45年もたつと、記憶の風化もはげしく、話が混線したり、脱線したりで、司会の先生方も大変の様子であった。続いて、東京からかけつけてくれた石川弘参議院議員から、ホットな政治問題、特にコメの自由化問題を中心に講話を拝聴し、質疑のあと懇親会に入った。今回は関東一泉同窓会の総会と日程が重なり、関東方面の会員の参加が得られず、30数名であったが、^{うなけ}宴がはじまれば、いつもの通り車座があっちこっちに出来、西の綺麗所の存在も忘れ、懐古談止むところを知らず、大いに盛り上がりを見せた。最後に校歌・応援歌を高唱し、お世話願った松任君に感謝し散会した。（高川義一記）



北陸中日美術展 入選作「かくれんぼ」
池田経子（通信17期）

OAからFAまで

特約店



松村物産株式会社

取締役社長 松村久夫

本社 金沢市広岡2丁目1番27号
電話 代表 21-6121番

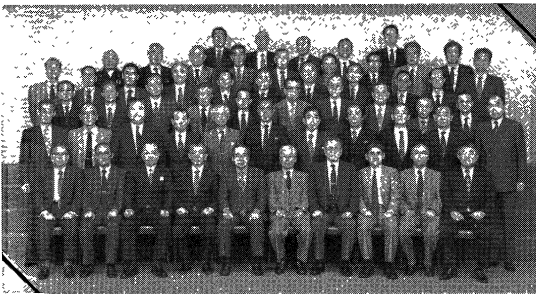
【一中55期(昭和23年卒業) 還暦記念同窓会】

金沢一中55回生(会長 松本進)は、平成2年10月6日、金沢市内の金沢ニューグランドホテルにおいて、還暦記念同窓会を開催しました。関東、関西、東海からも多数がかけつけ、60名の旧友が集い懐古談に花を咲かせ、校歌、応援歌に気炎をあげ、懇親会が盛大に行われました。

当日は4時半、懇親会に先立ち、金沢市内の尾山神社において恩師36名、級友25名の物故者の慰霊祭、つづいて還暦を迎える日を慶び還暦御祓式、更に増木喜治君をはじめ療養に病める同窓生の全快祈願を厳修しました。

平成5年に行われる母校一泉創立100周年記念事業に関して、本部事務局長でもある同窓会の島厚夫君から経過説明と協力方の要請があり、全員拍手をもって賛同し、2年後の再会までお互いの健康を誓い合って散会しました。

翌10月7日には有志16名によって、千里浜カントリークラブで親睦ゴルフコンペを行ない、大窪外慶君が48・46gross94で優勝を獲得しました。2位乙村董君、3位笠松茂雄君、遠来の片瀬貴文君、浅井悦朗君も共にニヤピン賞をとりました。



片瀬君は、次のホールでもピン側30cmにつけ、しめしめとしたところ、次に打った島厚夫君に5cm差でとり上げられることもあって話題をさらいました。

ました。

当日も賑々しく親睦を深めました。

(金井一郎記)

【泉丘3期(昭和26年卒業) 泉三会】

平成2年11月10日、金沢市内・センチュリープラザで学年総会を開催。約50名が出席して旧交を温めた。

【関東一泉同窓会第10回記念総会】

平成2年10月5日午後6時から、関東一泉同窓会(浦茂会長・一中34期)の総会・懇親会が東京グランドヒル市ヶ谷で、200人余りの参加をえて開催されました。ミニコンサートで幕を開け、浦会長の挨拶、船登校長の母校の近況報告、澁谷一泉同窓会長の挨拶、100周年記念事業実行委員会の島事務局長の同事業の内容説明と協力要請の後、和やかな懇親会が続き、最後に校歌と応援歌を斉唱し楽しい同窓会となりました。今回は泉丘11期生が会の運営を担当しました。(新谷修記)

関東地区泉丘12期(昭和35年卒業)からのご挨拶

'91年の「関東一泉同窓会総会・懇親会」を関東地区在住110余名の泉丘12期生(緑窓会：山本外吉校長先生が名付け親)が幹事期としてプロデュースさせていただくことになりました。

本年は、「いらっし みまっし よるまっし」をキャッチフレーズに「'91関東一泉同窓会総会・懇親会」を先輩、後輩、同輩が一堂に会しての楽しい語らいの泉(オアシス)として、いっそう充実させていきたいと思ひます。学んだ時代が違っても、みんな同じ校風の中で青春を過ごした仲間。再会の喜びを確かめ、新たな交流の輪を広げる場になれば幸いです。

昨年と同じグランドヒル市ヶ谷を会場に、9月中旬から10月上旬の間に開催を予定しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団隆整会

川北病院

院長 川北 篤

金沢市野町1丁目3番55号 ☎41-8351(代)

☎47-1122(入院患者呼出し専用)

[FAX]41-8398



我が一中時代の思い出

“篆刻の師匠は 一中時代の恩師”

篆刻・書家 坂野雄一氏 (一中54期)

＝坂野さんは昭和17年に一中入学、21年3月の卒業でいらっしゃいますが、16年12月開戦し、20年8月に終わった第二次大戦と、在学がほぼ重なっているその頃の学校生活は如何でしたでしょうか。

坂野 学校らしいことをしていたのは約2年間だけだったように思うね。あとは勤労奉仕で陸軍航空工廠（金沢市大和町・現在の和紡績金沢工場）に行ったり、また、片山津に予科練と名ばかりの海軍航空隊があったのですが、その飛行場の整地をしたりしていた。

＝途中、海軍兵学校に入学されたと伺いましたが。

坂野 海兵には昭和20年3月に入り、終戦の8月までおりました。15歳でした。

＝国民のすべてが戦争と正面から向き合わざるを得ない時代でしたから、純真なお気持ちで志願されたと思いますが。

坂野 悲壮感というより、義務感のようなものでしたね。親は倅というものは国へ差し出すもの、と思っていたでしょうし。もちろん、本当の気持はどうだったか。むしろその反対だったかもしれません。

そんな、戦争の影響もあって、学校制度の中でも変化の大きいクラスでした。軍関係学校をめざす者も少なくなかった。敗戦と同時に復学勧告を受けてほとんど（一中へ）戻ってきたのです。

＝4年で卒業されたのですね。

坂野 はい。もともと5年制だったのが、戦時特例で4年制に短縮され、その制度は混乱の中でまだ残っていました。だから同級生には四卒・四修・五卒があり、金沢一高まで続いて全くバラエティに富んでいます。そのあとが泉丘ですね。時代も反映してか、これといって楽しい思い出もありません。

＝何か、クラブ活動をしておられましたか。

坂野 私はクラブがきらいで(笑)。放課後縛られるのが嫌だったから。何にもやりませんでした。

＝坂野さんは昨年、御著書『花落ちて未だ掃かず』

(＝9歳で発病し、30歳で短い生涯を閉じた一人息子への思い、闘病の日々を父親の目で綴った手記作品)で第18回泉鏡花記念金沢市民文学賞を受賞されましたが、ご文章はもちろん、本の中に随所に織り込まれている篆刻や書・画など、小さいときから興味をお持ちだったのでしょうか。

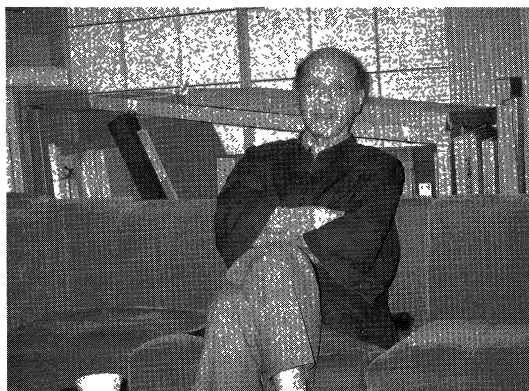
坂野 子供のころは図画・作文の時間が大きらいで(笑)。ハンコの師匠はいますが、こちらが勝手に弟子だと思っているだけで、技術を習ったことはなく、つまり“自己流”なのです。実は、その師匠は一中時代の担任で、長小次郎さん。中学ではほんの短いご縁だったのですが、戦後遊びにいて、先生の書と篆は随分と見て来ました。

自分でやり出したのは、結核で5年ばかり寝こんでからです。書に較べるとハンコはやたらと時間がかかりますが、そんな取り返しのつかないムダが面白いんですね。何かやりたいときは、往々にしてゆとりのないときで、遊んでいる(ゆとりのある)ときは、むしろ何もしたくないのではないのでしょうか。(笑)

＝お忙しいなか、長い時間お邪魔し、いろいろとありがとうございました。

金沢市片町の坂野氏宅にて

きき手 編集部・浅香



※坂野氏は、金沢歴史のまちしるべの石標文字や、テレビドラマ、書物の題字など多くを手がけ、『良寛に和す』『忘羊録』『莊子抄』等の著書がある。

◇募金に一層のご協力を◇

半年で2,337万4,000円

100周年記念事業の募金状況を逐次掲載します。
第1回報告は、'91年2月25日までに、実行委員会事務局の口座に振込まれた金額です。

一中の募金実績が非常に高く、○印は、すでに募金目標額を達成された期です。これは偏に先輩各位の母校の発展を願って大切にされるお心の賜物と思います。1中32期が特出しているのは、100万円の大口募金(匿名)ご協力によるものです。以降は大口募金は別口として計上していきます。

なお、泉丘の多くは、未だ各期でプールして実績向上を目指しているとのこととです。

また、通信制の募金も着実に達成されています。
全同窓生の参加で100周年を成功させましょう。
更に一層のご協力をお願い申し上げます。

各期の募金額(実績)と目標達成率

'91年2月25日現在(単位1,000円)

卒業期	募金額	目標達成率	卒業期	募金額	目標達成率	卒業期	募金額	目標達成率
一中 ~30	195		一高 泉丘			27	800	28.1
31	95	79.1	2	1,220	69.3	28		
○32	1,175	783.3	3			29	500	17.8
○33	435	271.8	4			30		
34	110	52.3	5			31		
○35	265	176.6	6			32	300	21.1
○36	280	155.5	7			33	215	14.9
○37	207	115.0	8			34		
38			9			35	346	21.6
○39	530	100.0	10	1,350	22.8	36		
40	400	60.6	11			37		
○41	957	147.2	12			38	245	29.8
42	605	86.4	13			39	287	31.8
43	140	25.0	14			40	280	35.0
○44	822	114.1	15			41	340	38.2
45			16			42	586	63.8
46	140	16.6	17	1,290	22.6	通信	1,800	90.0
47	527	65.0	18			合計	23,374	
48	580	69.8	19					
○49	990	100.0	20					
50	1,000	43.8	21					
51			22	1,000	31.5			
52	930	37.6	23					
53	820	34.1	24					
54			25					
55	1,630	51.5	26					

(○印は目標達成のもの)

☆泉丘各期をお願いします。常任委員を通じて、クラス幹事の名簿提出をお願いしてあります。
6・7・10・16・17・18・19・20・22・23・24・25・26・31・33・35期以外は未提出です。各クラス一名以上のクラス幹事をお知らせ下さい。

一泉創立100周年記念事業に
P T A 協力金2,000万円を拠出
=学校・P T A・同窓会が三身一体で=

'90年11月6日、泉丘高校P T A(小泉重紀会長・泉丘10期)の臨時総会が開催され、一泉創立100周年記念事業P T A協力金拠出に関する議案が提出された。

P T A協力金として、'91年度から'95年度まで、一人月額300円(但し、現3年生泉丘43期は今年度中に一人2,000円)、総合計額およそ2,000万円を100周年事業費に拠出し、泉丘高校P T A・一泉同窓会の共同事業として、「70周年記念図書館」の整備・充実を計ることが満場一致で承認された。

第18回金沢一中・泉丘高校桜美会展
“3,000人の入場者で賑わう”

母校の創立80周年を期して発足した桜美会展も、回を重ねて18回。平成2年9月6日から11日まで香林坊「大和」の8階文化ホールで開催された。全国的にも類稀れなる同窓会展として、同窓生はもとより地元愛好者の間にもすっかり定着した感があり、会期中3,000人に近い入場者があった。今回は笠島伍朗先輩(一中37期・昭和5年卒業)の100号をはじめ大作が多数出品され、これまでにない迫力のある展覧会となった。

何にもまして心強く感銘をうけたのは、恩師宮沢外与治先生の90才という年齢を感じさせないみずみずしい作品。

会期中に宮沢先生の卒寿の祝賀会を開き先生のますますの長寿を祈念するとともに、来るべき100周年の記念展にむけての抱負を語り合った。

(高川義一記)



「一泉文庫」設立のためのお願い!!

- 創立100周年を機会に、泉丘高校図書館内に一泉同窓会々員並びに関係各位の業績の一端を披露する「一泉文庫」を設立したいと思っています。
- すでにご寄贈いただいた書籍ばかりではなく可能な限り数多くの編著書を収集し、後輩生徒への激励の一助にしたいと思います。
- 学校の図書予算の都合もあります。甚だ勝手なお願いですが、各位のご芳志に甘え、ご惠贈賜りたくお願い申し上げます。

劇や器楽演奏でにぎやかに
“通信制の学園祭”

泉丘高校通信制の平成2年度学園祭が12月9日、泉野出町の校舎で開かれ、演劇や器楽演奏など生徒たちが一年の成果を披露して、親睦を深めました。

日頃顔を合わせる機会の少ない通信制の生徒たちの文化活動の発表の場として、8年前から行なわれている学園祭には、生徒ら約160名が参加し、学年単位で催し物が披露され、講堂舞台では、4年生5人が劇「泉丘高等裁判」を熱演。各々、歌に器楽演奏に、息の合ったところを見せ、温かい拍手を浴びていた。

このほか、書道、生け花などの展示会、茶会、バザーなども催されにぎわった。



通信制 第8回学園祭・展示会場から

委員会だより

☆記念誌委員会

○昨年11月の泉丘12～25期の座談会を皮切りに、本年に入り通信制、泉丘2～11期、26～37期と座談会を開催し、出席の皆様が大いに思い出を語っていただきました。以後一中の座談会を予定しています。

○各期1名、一人1,000字で回顧録の執筆をお願いします。各期で執筆者の人選を進めて下さい。

○100年史執筆のため、参考となる諸資料のご提供をお願いします。返却を要するものには充分留意する所存です。よろしくご協力お願いします。

☆名簿委員会

○創立100周年記念事業要綱に同封したハガキは名簿作成の資料としますので、名簿・記念誌の購入の有無に拘らず、必ずご返送下さい。未だ返送されていないものがかなりあります。故人をも含め、同窓親族のご記入をお願いします。

○名簿は、100周年の半年前('93年4月)に完成予定です。今後とも、移動に際してはすみやかに同窓会事務局(各期常任委員)まで、ご連絡をお願いします。

○'92年12月に最終調整を行ないます。正確を期したいと思います。ご協力お願いします。

あ と が き

『一泉』18号をお届けします。100周年記念事業実行委員会の活動も次第に軌道に乗ってきました。各期の同窓会の開催も活発で、ご多端の中、早速の原稿ご協力に厚く感謝いたします。

募金目標額達成のためのご甚力の程がひしひしと伝わってきます。

紙面の都合上、寄せられました随筆・詩・短歌・俳句など割愛させていただいた記事もいくつかあります。できるだけ早い時期に次号を発行し、順次掲載したいと思います。

今後とも、同窓の集い等、400字以内でご執筆いただき、ご寄稿下さい。お願いいたします。

●『一泉』編集室

高川 義一(室長 一中53期)

堀口 渉(一中45期) 荒木澄子(泉丘3期)

浅香以都子(泉丘10期) 小林弘子(泉丘12期)

題字・坂野雄一(一中54期)